

2. 調査全体を踏まえての提言

今回の調査結果から、今後の北方領土問題の啓発となる次世代へ向けた啓発手法を考える上で、北方領土問題を生徒に「自分ごと化」させる、北方領土を授業で教えやすくする、という点が特に重要と考えられる。

A. 北方領土問題を児童・生徒に「自分ごと化」させるための施策

1. 児童・生徒の関心領域・得意分野にあわせて自分ごと化できる施策を考える

- ◆単に「北方領土問題」について、教えるだけでは「自分ごと化」させるのは、難しいと考えられる。児童・生徒に何らかの形で、関わらせることで、北方領土問題を自分ごと化させる。

<施策案1>

- ◆委員会活動や部活動などを中心に学校内で多くの人に関わることができる仕掛けを考える

例) ポスター作品を募集

- 2月の「北方領土返還運動全国強調月間」にあわせ、全国の小中高校の児童・生徒を対象に、「北方領土の日」等、北方領土に関するポスターのデザイン案を募集。委員会活動や部活動、生徒会活動などを中心に取り組める内容にする。

<施策案2>

- ◆北方領土が返還された後の利活用を想定したプログラムコンテストの実施。

例) プログラムコンテストの実施 (小中高部門別)

- 北方四島の利活用を考えることは、北方四島の自然や資源等について、深く、真剣に考えることにつながる、理解することにつながる。
- 戦前までにどのような資源によって、生活が支えられ、どのような産業が興っていたのか、などの情報を調べて、理解することにつながる。
- また、返還後、ロシア人島民とどのような形で交流していくのか、という視点で、北方領土問題を考える機会にもなる。

<施策案3>

◆「北方領土問題」について、自分たちができる活動を考えさせる

例) ワークショップの実施

- 社会課題に対して、意識の高い児童生徒を募り、「北方領土問題」について、自分たちがどのようなことができるのか？どのようなことをする必要があるのであるのか？を議論してもらう
- 全国の学校のなかで、「北方領土問題」、及びその他の社会課題に対して意識の高い児童生徒に集まってもらい、校種別に議論してもらう。
- 歴史や経緯、領土権を主張する根拠や自分たちにとってのメリットといった点にまで議論のテーマが及ぶことが考えられ、より広い視点で、北方領土の問題を考えることにつながる。
→上記で示したような北方領土が返還された後の利活用を想定したプログラムをテーマとして採用することもできる
- このワークショップの活動（プロセス・結果）を発信することで、引率する先生に対する意識付け、所属する学校や児童生徒に対して、意識付けを行うことが可能になる。

※高校生を対象に、MDGs（エム・ディー・ジーズ） 国連開発計画をテーマにした全国規模でのワークショップは開催されている

<施策案4>

◆自分たちに近い世代との交流、教えるという行動を通じて、「北方領土問題」に対する理解を深めさせる

例) 高校生と中学生との学習交流 教育大学生と高校生

- 社会的な課題に対する活動をテーマにしている教育大学の学部やゼミ、研究会等の学生と高校生との共同学習や研究をプログラムとして活用する。
→自分たちに近い世代と交流することで刺激になる
→同様に高校生と中学生との交流も考えられる

2. 北方領土に関する情報を自分以外の人に伝える行動を通じて、自分ごと化させる、より深い理解を促す

<施策案5>

◆下の世代（小中学生）に北方領土に関連することを教えることで、理解を深めさせる

例) 小中学校への出前授業

- 北海道内の一部の高校が取り組んでいる「出前教育講座」をシステム化・体系化して、より多くの高校に参加させる。その際に、北方領土「北方領土問題を知ってもらう」ための活動にボランティア参加を促す。
- 小中学生にとっても自分たちに比較的近い高校生が教えることで、通常の授業とは違った興味をもつ

B. 北方領土を授業で教えやすくするための施策（サポート施策）（対 学校/教諭）

<施策案1>

◆北方領土に関する具体的な授業プログラム案の提示

- 北方領土に関する内容を授業のなかで、どのように教えて良いのか分からない先生がいることを考慮して、具体的な授業プログラム案を提示する。
→高等学校調査では、半数の学校で、「力を入れて教えたいと考えているが、十分な対応ができていない」と回答。

<施策案2>

◆教員用指導書の作成

- 北方領土に関する授業を進めやすくするため、教員用指導書を作成する。
→内閣官房の学習教材「防災まちづくり・くにづくり」は、内閣府（防災担当）・文部科学省・（公社）土木学会と連携・協力し、学校の授業等で活用できるように作成されている。それにあわせて、教員用指導書も作成している。

<施策案3>

◆北方領土学習教材の改定（WEB教材）

- 現在の北方領土学習教材（WEB教材）については、北方領土学習教材集に対する学校現場の認知度が低い、対象校種・対象学年に振り分けられていない、内容が深いため初心者だと取り扱いにくい、キーワード検索が設けられていないなど課題が多い。
- そのため、先生方に利用しやすいように、北方領土学習教材の改定案を提示する。
- また、北方領土学習教材自体が知られていないこともあり、北方領土学習教材自体を認知してもらうための広報活動も必要と言える。

<施策案4>

◆北方領土学習教材の認知向上／教材を活用した事例の蓄積

- 北方領土教育を幅広く推進し、全国の学校における北方領土学習教材集の活用を促進するため、北方領土教育を熱心実践する推進校で、教材集を活用した授業実践や研究、成果を他の学校に広め、若い世代の北方領土返還に対する意識向上と、北方領土教育のさらなる推進を図る。

- ①ワーキンググループなどコア層の獲得
教員の北方領土教育に対する意識向上のために、現職教員を中心としたワーキンググループを設置。教員間で情報交換できる場を設定。
- ②学習教材集を活用した授業の実施及び紹介
教材を活用した授業事例を WEB で情報発信を行う。
- ③教員向け研修会の実施
教材を活用した授業事例やさらなる活用方法などを教員研修で実施する。

<施策案5>

◆「北方領土返還運動全国強調月間」にあわせ、夏休み中（宿題）の生徒に向けた課題図書に採用してもらう

例) 夏休みの課題図書としての採用

- 8月の「北方領土返還運動全国強調月間」にあわせ、夏休み中（宿題）の生徒に向けた課題図書に採用してもらう。

→学校内で読書感想文を宿題として提出してもらうほか、課題図書を対象とした「読書感想文コンクール」の開催も考えられる。

<課題図書候補一覧>

	ジャンル	タイトル	内容	初版年月日	出版社	著者	ページ数
大黒屋光太夫	エッセイ	ソフィアの歌	漂流民・大黒屋光太夫によって、初めて日本に渡来したロシア歌謡「ソフィアの歌」。この歌のルーツをたどった物語。	1997年6月	新潮社	五木 寛之	185 ページ
樋口季一郎	ノンフィクション	8月17日、ソ連軍上陸す—最果ての要衝・占守島攻防記	ソ連の北海道占領は、いかにして阻まれたのか。知られざる戦争の全貌を浮き彫りにした畢生の歴史ノンフィクション。取材や手記など生の声を通して、ポツダム宣言受諾のソ連の千島列島侵攻による死闘が浮き彫りにされている。	2010年7月	新潮社	大野 芳	366 ページ
	小説	流氷の海—ある軍司令官の決断 (光人社NF文庫)	北方軍司令官として、『太平洋戦争最大の奇蹟』キスカ撤退作戦に力を尽くした陸軍将官の生涯! 帝国陸軍随一の人間愛あふれる樋口季一郎将軍の物語。写真が掲載されており、当時の様子がわかる。一人称で書かれており、読みやすく戦争の臨場感が伝わる。	2010年2月	光人社	相良 俊輔	522 ページ
高田屋嘉兵衛	小説	高田屋嘉兵衛	江戸後期の流通経済を担う廻船商として成功し、大船辰悦丸を駆って新開の地・蝦夷に果敢に挑戦して難関エトロフ航路を開拓、また、危機に直面する日露紛争解決に奔走した高田屋嘉兵衛の人生を描く。	2000年4月	神戸新聞出版センター	黒部 亨	272 ページ
間宮林蔵	小説	間宮林蔵	樺太調査に挑んだ間宮林蔵の知られざる栄光と不運の生涯を克明に描く。樺太（サハリン）の明治時代以前の極めて重要な史実を教えてくれる。一人の偉業を讃えた感動の名作であり、北海道の歴史を知る名作。	1982年 新装版：2011年10月	講談社	吉村昭	512 ページ
その他	小説	エトロフ発緊急電	第二次世界大戦3部作の2作目。真珠湾攻撃の直前、択捉島に潜入したアメリカ合衆国の日系人スパイ、ケニー・サイトウ。激しい諜報戦が繰り広げられる北海の小島に彼が見たものが描かれている。このミステリーがすごい! 1989年版第4位 真珠湾攻撃が択捉島から出撃したこと、日本とロシアの間での北方領土に関する取り決めの経緯も描かれている。人間ドラマも巧みに描かれ、読み物として面白い。物語を読む中で、戦争や北方領土についての知識も得ることができる内容となっている。	1989年10月	新潮社	佐々木譲	394 ページ
	小説	ジヨバンニの島	アニメ映画の原作小説。舞台は終戦前後の北方四島のひとつ色丹島。寛太と純平の幼い兄弟が戦争によって引き離された父に会うため、100キロ離れた収容所を目指す物語。	2014年2月	集英社	杉田 成道	320 ページ
	小説	北のふるさと墳墓の地、北方領土よ返れ! 実話小説	北方領土を舞台にした、実話に基づいた小説。	2014年2月	創栄出版	河辺リツ	377 ページ
	小説	オホーツク老人 (短編)	旧ソ連の侵攻で北方領土を追われ、知床半島にたった一人残された「留守番さん」という老人。原始の厳寒地にたくましく生きる野生の鳥獣たちと、孤独な老人の一冬を、地球史的スケールで描写し、知床プームに火を付けた。	2008年7月	武田ランダムハウスジャパン	戸川 幸夫	80ページ
	ノンフィクション	「北方領土」上陸記	旧島民たちの悲痛な望郷の念、現ロシア住民たちの戸惑い。幾度も軌道に乗りながら土壇場で水泡に帰してきた領土返還交渉の歴史を振り返りながら、問題の本質を見つめ風化を防ぐ熱情にあふれたノンフィクション。	2005年11月	文藝春秋	上坂冬子	304 ページ

C. 北方領土学習教材集改訂案の提示等（WEB教材イメージ）

調査概要

分析事項

■効果的な教育資材の開発に向けての分析

これまでの調査より、

①教科書等調査

- 教科書等調査では、北方領土問題対策協会がホームページで提供している北方領土学習教材集と上記調査対象の教科書等において対比ができるものについては対比表を作成して整理・分析を実施。
- 今年度使用している社会科副教材のデータを収集し、整理・分析を実施している。

②ソフト調査

- ソフト調査では、現在、市販されている小説、映画、マンガ等で直接的又は間接的に北方領土問題がテーマ等となっているもののタイトル、出版社名、販売者名等をリスト化して整理。
- 歴史を遡るなどして分析対象を拡大するという提案を受け、間宮林蔵・高田屋嘉兵衛らの書籍等を候補に入れることを検討。
⇒教科書等調査、ソフト調査の調査結果及び検討委員会が出た意見を踏まえ、北対協がWEBで提供している北方領土学習教材集改定案について提案を行う。

<現状の課題>

- 北方領土学習教材集に対する学校現場の認知度が低い
- 対象校種、対象学年に振り分けられていない
- 内容が深いため、初心者だと取り扱いにくい
- 個別の学習内容と学習指導例が分かれており、中身が一目で分からないため、何度もクリックする必要がある
- 個別の学習内容と学習指導例の内容が重複している箇所が多い、構造が似ているため活用の違いが分からない
- キーワード検索が設けられていない

◆委員の意見より

- 欲しい教材を見つけられるナビゲーションがない、自分が欲しい教材を見つけるのが大変
- 映像教材が欲しい
- 感覚的に距離や大きさが分かるようにした方が良い
- WEBカメラを活用



WEBの構造設計	校種(小学校・中学校・高等学校)と対象を明記させた教材集に再整理。初心者でも扱えるよう一般向けと、さらに踏み込んだ情報を伝えるコア向けの2段階構造にする必要がある。
授業支援コンテンツの提供	ソフト調査より、学校で活用しやすい映画や小説、漫画などをピックアップし、紹介。また、授業に活用しやすい映像教材を新たに作成する。
WEBの認知度	教材集を活用したPR機会の創出(授業事例の蓄積)

WEBの構造設計

指導案や関連資料集のみを紹介している教材サイトと、教育活動を全面的にサポートする幅広いコンテンツをそろえた教育支援サイトの2種類が存在。近年では、教育支援サイトの方が多い傾向にある。

教材サイトと支援サイトのどちらをテーマとするかで、そろえるべきコンテンツが異なる。

	学習指導案	資料集 (写真・地図・映像)	授業実践事例	児童・生徒用 教材	Q&A	教員向け情報
教材集	○	○	—	△	△	—
支援 サイト	○	○	○	○	○	○

校種・学年別に分かれた指導案・指導計画を用意し、クリック数が少なく一覧性のあるページ設計。

初心者でも扱える一般向けと、さらに踏み込んだ情報を伝える専門性の高いコア向けの2段階構造を設定。

■教材集サイトの場合

小学校・中学校・高等学校用に「学習教材集」を改訂。現状のものは専門性が高いため、現在の資料性を活かしながらも、分かりやすくまとめた一般向け教材と、専門性の高い情報を掲載した教材ページを制作。

誰が見ても一目で分かるようにサムネイルを表示させるなど、配置転換を行う。

⇒A案・B案

■支援サイトの場合

上記教材サイトの内容を包括しながら、指導案とともに授業の様子が分かる映像や写真を用いた実践事例紹介ページやQ&A、教員が活用できる情報コラムなど、授業に使える北方領土教育に関するコンテンツを増やす。

北方領土四島の大きさが視覚的に分かる地図や、島民の声を聞くことができる映像教材などダウンロードできるページを設定する。

⇒C案

A案 ①トップページで、対象校種・学習想定シーンをしっかりと明記する。



7

A案 ②「個別の学習内容・項目」について、どのように活用できるのか示した活用方法、対象学年・関連教科・学習内容を明記し、教科書調査の分析に基づき、項目を基礎編・応用編に分けて再整理する。
※教科書で取り扱いの多い項目を基礎編、少ない項目を応用編に改変

個別の学習内容・項目	活用方法・概要説明
<p>基礎編</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の領域について 日本の排他的経済水域 北方領土の位置と範囲について ソ連による占領の状況と元島民の体験談について 日本政府の外交方針とロシアとの関係について 	<p>応用編</p> <p>日本の排他的経済水域について</p> <ul style="list-style-type: none"> 北方領土の自然、風景について 北方領土の返還に向けた国内の取組について 北方領土の戦後の状況と交流について 現在の北方領土の産業、暮らしについて 北方領土の元島民の生活(戦前の暮らし)について <p>「個別の学習内容・項目」を一括ダウンロード</p>
<p>記載例</p> <p>日本の領域について 対象: 中学校 教科: 地理 関連単元: 日本のさまざまな地域</p>	

8

B案 ・「個別の学習内容・項目」と「学習指導例」の重複感をさけるため、学習指導例を先に表示し、より深い情報が集約されている「個別の学習内容・項目」は、後から紐付けするような構造にする。

「個別の学習内容・項目」と「学習指導例」の重複感をさけるため、学習指導例を先に表示し、より深い情報が集約されている「個別の学習内容・項目」は、後から紐付けするような構造にする。

さらに調べたい情報は「個別の学習内容」ページへ誘導

C案 ・A案B案の内容を包括しながら、指導案とともに授業の様子が分かる映像や写真を用いた実践事例紹介ページやQ&A、教員が活用できる情報コラムなど、授業に使える北方領土教育に関するコンテンツを増やす。北方領土四島の大きさが視覚的に分かる地図や、島民の声を聞くことができる映像教材などダウンロードできるページを設定する。

北方領土学習教材集

「北方領土問題」とは、北海道根室半島の北東洋上にある島々で現在ロシアが不法占拠している4島～択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島～に対し、日本が返還を求めている問題のことです。ここでは、この問題を子どもたちに伝えるための教材を提供しています。この学習教材集は、内閣府、文部科学省の協力を得て作成されたものです。

学習教材集	素材集(地図・年表・写真)
授業実践(動画紹介)	情報コラム
Q&A	教員研修情報
教育教材リンク集	北方領土教育ネットワーク

教員が活用しやすい教育コンテンツを増やす

授業支援コンテンツ

1) ソフト調査の結果に基づき、北方領土学習教材ページに、北方領土問題がテーマとなっている映画・小説・絵本・漫画を紹介するコンテンツを作成。それぞれの素材が、どの学年に対応しているのかを明記して紹介する。

紹介例

ジャンル	タイトル	内容	公開/初版年月日	製作・配給	著者・製作スタッフ・キャスト	ページ数・上映時間
アニメ映画	ジョバンニの島	日本音楽事業者協会創立50周年記念作品。太平洋戦争末期から終戦直後の色丹島を舞台に、ソ連の占領に伴い激変した島民の暮らしをとある家族の視点で描く。	2014年2月	ワーナー・ブラザーズ映画	制作：プロダクションIG 監督 - 西久保瑞穂	本編102分

2) 授業に活用しやすい映像教材を作成。北対協の啓発動画を元に、小学校・中学校・高校の校種別に活用できる映像を配信する。北方領土問題の概要・歴史・元島民の体験談などを集約し、授業動画なども新たに作成。



- 小学校向け(社会科)
- 1) 北方領土の位置
 - 2) 北方領土の歴史
 - 3) 元島民の体験談
 - 4) 現在の北方領土の様子

- 教員向け実践紹介
- 1) 小学校(社会科)
 - 2) 中学校(地理)

11

WEBの認知度

教材集を活用したPR機会の創出

◆教材を活用した事例の蓄積

北方領土教育を幅広く推進し、全国の学校における北方領土学習教材集の活用を促進するため、北方領土教育を熱心に実践する推進校で、教材集を活用した授業実践や研究、成果を他の学校に広め、若い世代の北方領土返還に対する意識向上と、北方領土教育のさらなる推進を図る。

①ワーキンググループなどコア層の獲得

教員の北方領土教育に対する意識向上のために、現職教員を中心としたワーキンググループを設置。

教員間で情報交換できる場を設定。

②学習教材集を活用した授業の実施及び紹介

教材を活用した授業事例をWEBで情報発信を行う。

③教員向け研修会の実施

教材を活用した授業事例やさらなる活用方法などを教員研修で実施する。